

協議事項1

令和元年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(案)について

..... P 1

協議事項2

令和2年度あわら市国民健康保険特別会計予算(案)について

..... P 2～6

あわら市市民生活部市民課

令和元年度 あわら市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳出補正額 △ 60,181 千円

(単位：千円)

科目	予算現額 (A)	補正額 (B)	計 (B) + (A)	主な要因
一般分	2,299,039	△ 73,900	2,225,139	療養給付費の減
退職分	18,310	0	18,310	
出産育児 ・葬祭費	8,804	0	8,804	
審査支払手数料	6,080	0	6,080	
	2,332,233	△ 73,900	2,258,333	
国民健康保険事業 納付金	790,662	0	790,662	
保健事業費	30,185	0	30,185	
総務費	57,222	423	57,645	制度改正に伴うシステム改修費
基金積立金	1	577	578	基金利子分
償還金	0	12,719	12,719	保険給付費等交付金償還金 (H30保険給付費実績に伴う精算)
その他支出	5,323	0	5,323	
歳出合計	3,215,626	△ 60,181	3,155,445	

歳入補正額 △ 60,181 千円

(単位：千円)

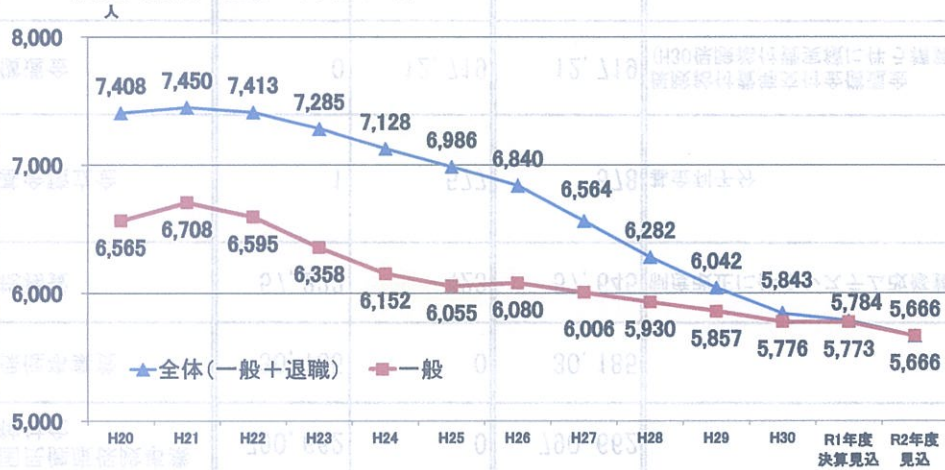
科目	予算現額 (A)	補正額 (B)	計 (B) + (A)	主な要因
現年度分	562,100	△ 12,000	550,100	
滞納繰越分	29,000	0	29,000	
	591,100	△ 12,000	579,100	
国庫支出金	1	330	331	制度改正に伴うシステム改修補助金
県支出金	2,367,085	△ 73,900	2,293,185	普通交付金 △73,900
一般会計繰入金	204,888	△ 891	203,997	保険基盤安定繰入金 △984 事務費繰入金 93
基金繰入金	46,000	△ 36,000	10,000	
繰越金	1	50,578	50,579	
その他収入	6,551	11,702	18,253	基金利子分 577 療養給付費等返還金 11,125 (H30療養給付費実績に伴う返還金)
歳入合計	3,215,626	△ 60,181	3,155,445	

令和2年度 あわら市国民健康保険特別会計予算

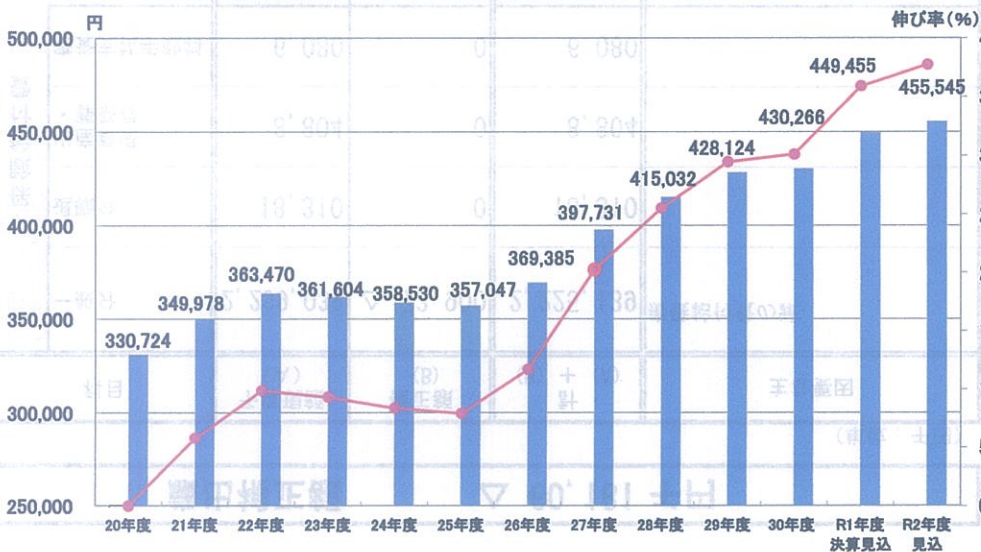
予算の概要について

① あわら市国民健康保険 被保険者数・医療費の推移

○ 被保険者数の推移 (年度平均)



○ 一人あたりの年間医療費の推移 (一般+退職)



② 国民健康保険税の制度改革 (国の動向)について

令和2年度制度改革について (令和元年12月20日閣議決定)

(1) 賦課(課税)限度額の引上げ

	現行	改正後
基礎課税額 (医療分)	61万円	63万円
後期高齢者支援金等課税額	19万円	19万円
介護納付金課税額	16万円	17万円
賦課限度額	96万円	99万円

(2) 軽減判定所得基準の見直し (低所得者の保険税負担の軽減)

応益分(均等割、平等割)を所得に応じて7割・5割・2割軽減する仕組みで、経済動向等を踏まえ5割・2割軽減について、軽減判定所得の基準が見直される。

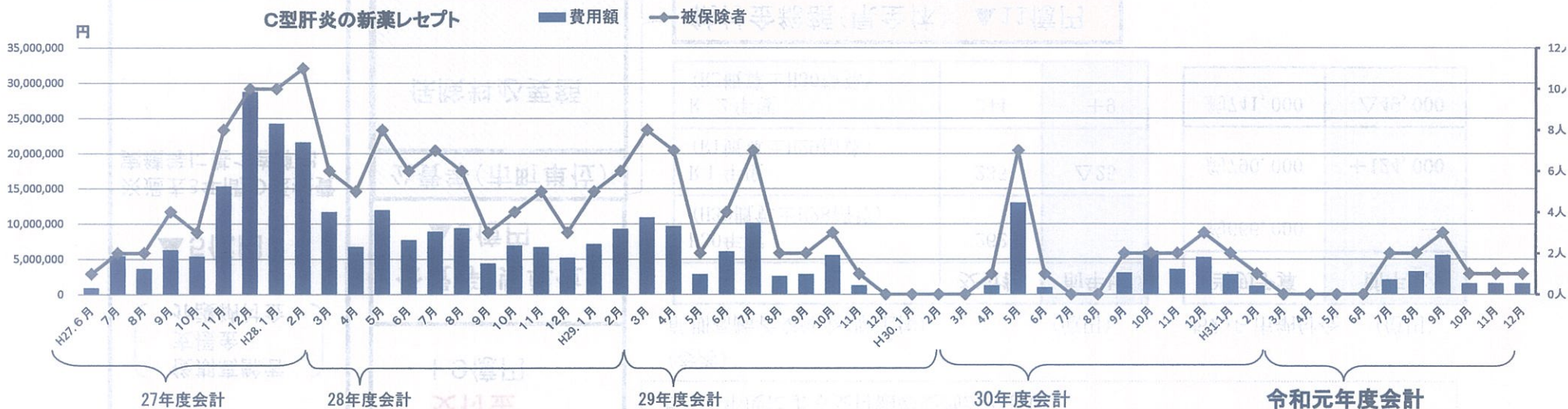
	現行	改正後
7割軽減	33万円	33万円
5割軽減	33万円 + 28万円 × 被保険者数	33万円 + 28.5万円 × 被保険者数
2割軽減	33万円 + 51万円 × 被保険者数	33万円 + 52万円 × 被保険者数

③ C型肝炎の新薬について

(令和2年2月末現在)

C型肝炎新薬:		H28. 4月~	H30. 4月~
(H27. 5月発売) ソバルディ錠	1日1回、1錠/回	1日薬価：61,800円 → 42,240円	→ 同左
(H27. 9月発売) ハーボニー錠	1日1回、1錠/回	1日薬価：80,170円 → 54,800円	→ 54,690円
(H27. 11月発売) ヴィキラックス錠	1日1回、2錠/回	1日薬価：53,600円 → 46,120円	→ 販売中止
(H28. 11月発売) エレルサ錠	1日1回、1錠/回	1日薬価：26,900円	→ 25,980円
(H29. 11月発売) マヴィレット錠	1日1回、3錠/回	1日薬価：72,540円	→ 54,420円
(H31. 2月発売) エブクルーサ錠	1日1回、1錠/回	1日薬価：60,160円	→ 60,160円

◆月の初めと終わりに受診する場合は、1件200万円を超える場合がある。
 ◆H29.11月発売のマヴィレット錠は、すべてのジェノタイプ(1~6型)に適用。
 ◆H31.2月発売のエブクルーサ錠は、C型非代償性肝硬変にも適用。



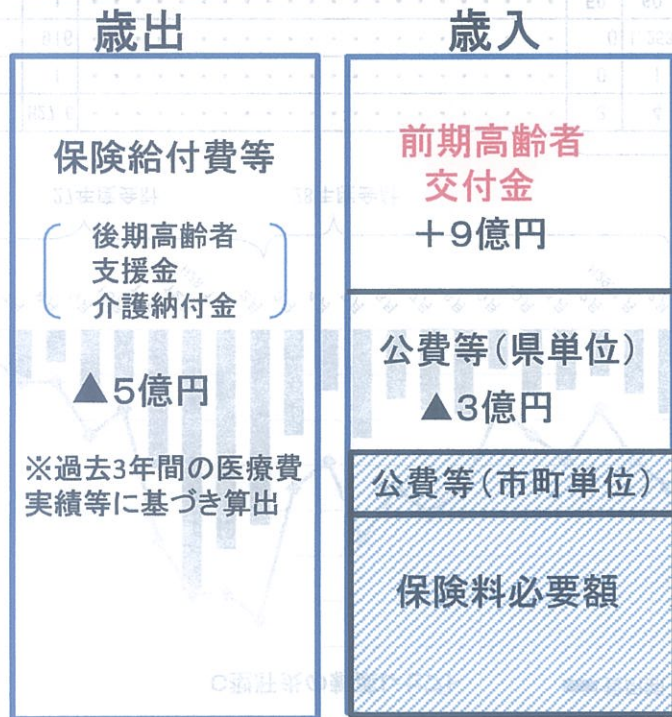
月	H27.6	27年度会計												28年度会計												29年度会計												30年度会計												令和元年度会計																	
月	H27.6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
被保険者(人)	1																	
費用額(千円)	916																	
累計人数(人)	1																	
累計費用額(千円)	916																	

【新薬服薬者 累計 実73人 (H27.6月～) の内訳】

ソバルディ錠	19人	ハーボニー錠	19人	ヴィキラックス錠	15人	エレルサ錠	11人	マヴィレット	8人	エブクルーサ錠	1人
--------	-----	--------	-----	----------	-----	-------	-----	--------	----	---------	----

④ 令和2年度 国保事業費納付金の算定について

令和2年度 福井県国保会計(前年度比)



【国保事業費納付金の算定方法】

・各市町の納付金額は、県全体の納付金総額を市町ごとの「被保険者数」と「所得水準」で按分し、それぞれに「医療費水準」を反映することにより算定される。

前期高齢者交付金

(負担の大きい前期高齢者の医療費を被用者保険からの交付金で充当する制度) 当該年度に概算で交付され、2年前の実績を精算。算定で用いる伸び率の乖離により、年度による交付額の変動が大きい。

(参考)

前期高齢者交付金(県全体)

(億円)

あわら市納付金 (億円)

	交付額	前年比
H30年度 (H30概算±H28精算)	262	—
R1年度 (R1概算±H29精算)	235	△25
R2年度 (R2概算±H30精算)	244	+9

当初予算	前年比
約666,000	—
約790,000	+124,000
約741,000	△49,000

納付金総額(県全体) ▲11億円

【激変緩和措置】

・ R2年度 福井県激変緩和財源 (総額4.2億円)

- ① R2年度1人当たり保険料必要額が、H28年度(制度改革前)と比較して一定割合を超えて伸びている市町に対し、一定割合まで激変緩和財源を投入し、保険料負担を抑制 (1億円) → 対象6市町
- ② 保険料負担を緩和するため、残額を該当市町に配分 (3.2億円) → あわら市 約12,900千円

【特例基金】 1.6億円(H30～R5限定財源)

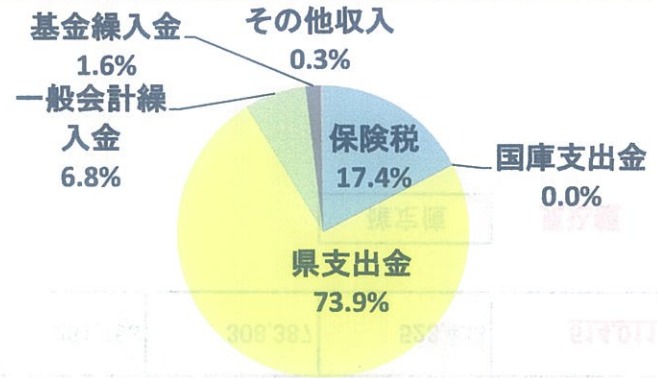
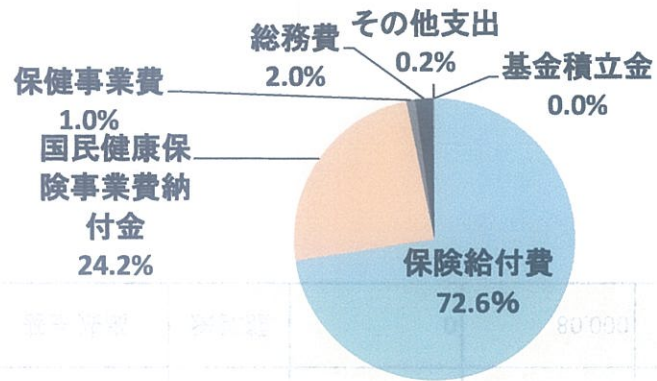
・ R2年度は、福井県特例基金は使用しない (R元年度保険料は県平均10%伸びたため、1億円使用済。残 0.6億円)

【今後の対応について】

税率改定にあたっては、**基金や繰越金を活用**しながら、計画的・段階的に改定していくことが必要。また、**前期高齢者交付金の影響が大きい**ため、納付金や標準保険料の今後の見通しを示すことは困難であるが、**1人当たりの医療費が今後も伸び続ける**ことや**国の激変緩和公費は段階的に縮小**していくことから、激変緩和財源の投入金額を踏まえたうえで改定幅について検討する。

⑤ 令和2年度 あわら市国民健康保険特別会計予算

歳出予算額	3,059,500 千円	歳入予算額	3,059,500 千円
--------------	---------------------	--------------	---------------------



(単位：千円)

(単位：千円)

科目	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較(A)-(B)	主な要因	
保険給付費	一般分	2,200,210	2,299,039	△ 98,829	一般被保険者数の減
	退職分	5,510	18,310	△ 12,800	退職者医療制度(H27年度廃止)の経過措置期間終了
	出産育児・葬祭費	8,804	8,804	0	
	審査支払手数料	6,080	6,080	0	
	合計	2,220,604	2,332,233	△ 111,629	
国保事業費納付金	741,496	790,662	△ 49,166	県算定による国保事業費納付金の減	
保健事業費	29,918	30,185	△ 267	健診対象者数の減	
総務費	61,801	51,096	10,705	制度改正に伴うシステム改修費の増 職員1名増員による人件費繰入金の増	
その他支出	5,680	5,323	357	H30退職被保険者等納付金精算金 0 → 957	
基金積立金	1	1	0		
歳出合計	3,059,500	3,209,500	△ 150,000		
保険税	現年度分	510,300	562,100	△ 51,800	被保険者数の減 軽減対象世帯拡大による減
	滞納繰越分	22,000	29,000	△ 7,000	
	合計	532,300	591,100	△ 58,800	
	国庫支出金	1	1	0	災害臨時特例補助金
	県支出金	2,259,816	2,366,586	△ 106,770	保険給付費減に伴う交付金の減
一般会計繰入金	209,179	199,261	9,918	制度改正に伴うシステム改修費の増 職員1名増員による人件費繰入金の増 基金安定繰入金の減	
基金繰入金	50,000	46,000	4,000	収入減に伴う繰入金の増	
その他収入	8,204	6,552	1,652	延滞金の増	
歳入合計	3,059,500	3,209,500	△ 150,000		

(令和2年2月末現在)

⑥ 国民健康保険基金及び一般会計繰入金 (法定外)

法定外繰入理由:
保険税の負担緩和を図るため

※税率改定

※退職医療制度の廃止(～H27.3.31)

※県単位化

(単位:千円)

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
一般会計繰入金 (法定外)		0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0
基金繰入金	当初予算	0	0	60,000	90,000	130,000	30,000	146,000	0	46,000	50,000
	補正予算	115,585	0	△ 60,000	△ 55,000	△ 61,000	△ 30,000	△ 146,000	0	△ 36,000	
	予算現額	115,585	0	0	35,000	69,000	0	0	0	10,000	50,000
	決算額	115,585	0	0	0	50,000	0	0	0	10,000	
基金積立	決算額	196	80,000	160,184	548	556	40,165	76,934	215,046	578	1
基金残高	決算額	0	80,000	240,184	240,732	191,288	231,453	308,387	523,433	514,011	464,012

確定値

見込額